FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix 2500Z

2.1 MEGA PIXELS

使用説明書

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ ファインピックス 2500Zの使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

BB11660-100(1)

目　次

4 応用編 再生

5 設定編

1
2
3
4
5

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

●**皮膚に付着した場合：**
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。

●**目に入った場合：**
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

●**飲み込んだ場合：**
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

●本カメラはクラスB情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかし本カメラをラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●この機器を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

●iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。

●Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

●SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。

●その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

カメラの特長/付属品

カメラの特長

- 211万画素CCDと高解像度フジノン3倍ズームレンズによる高画質
- 記録画素数 最大1,600×1,200ピクセル
- コンパクト軽量ボディー
- 1.8型カラー液晶モニター
- 広範囲な撮影領域（マクロ撮影機能付き）
- 高精度でワイドレンジな調光が可能なオートストロボ内蔵
- 撮影条件の細かな設定が可能なマニュアル撮影モード
- デジタル2.5×拡大撮影機能/1.2〜4倍ズーム再生機能
- モードレバーと“◀▶”ボタン/“▲▼”レバーによる簡単操作
- 撮影日時の記録・再生機能
- 大容量メモリーカード・スマートメディア（SmartMedia）対応
- USB接続により簡単・高速に画像データ転送が可能（付属のインターフェイスセット使用）
- デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

  *DCFは日本電子工業振興協会（JEIDA）で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
- 簡単プリントを実現するDPOF（Digital Print Order Format）対応

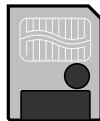
※フロッピーディスクアダプター FD-A2B、イメージメモリーカードリーダー SM-R2、PCカードアダプター PC-AD3Bを使えば、パソコンとの連携も一層便利です。

付属品

- **単3形アルカリ乾電池 LR6（4本）**
- **スマートメディア 8MB、3.3V（1枚）**

  付属品：

  静電気防止ケース（1個）

  インデックスラベル（1組）

- **ハンドストラップ（1本）**

- **USBインターフェースセット（1式）**
  - CD-ROM：Utilities for FinePix（1枚）
  - 専用USBケーブル（1本）
  - 簡易操作ガイド（1式）
- **使用説明書（本書1部）**
- **安全上のご注意（1部）**
- **保証書（1部）**

各部の名称

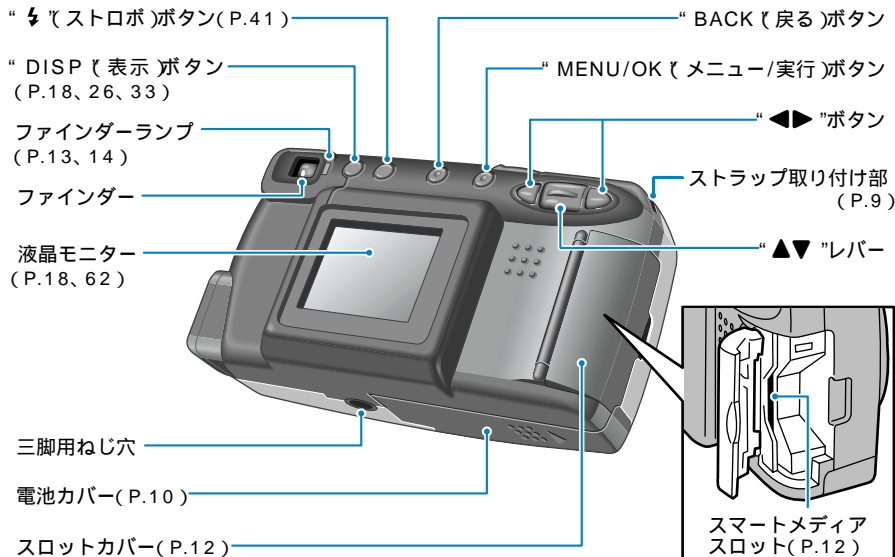
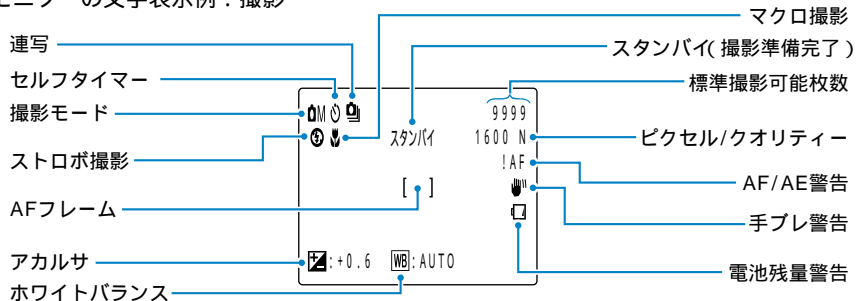
＊（　）内のページに操作の説明があります。

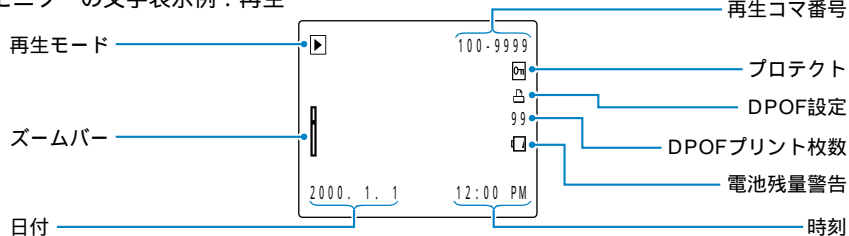
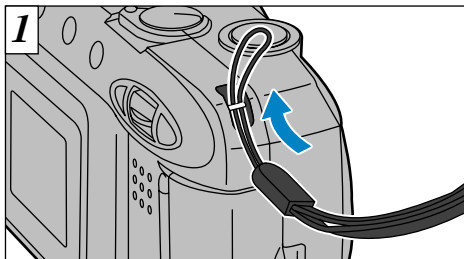
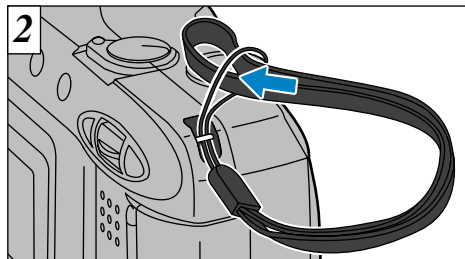
“ ϟ ”(ストロボ)ボタン(P.41)
“ DISP ”(表示)ボタン
(P.18、26、33)
ファインダーランプ
(P.13、14)
ファインダー
液晶モニター
(P.18、62)
三脚用ねじ穴
電池カバー(P.10)
スロットカバー(P.12)
“ BACK ”(戻る)ボタン
“ MENU/OK ”(メニュー/実行)ボタン
“ ◀▶ ”ボタン
ストラップ取り付け部
(P.9)
“ ▲▼ ”レバー
スマートメディア
スロット(P.12)

各部の名称

液晶モニターの文字表示例：撮影

連写
セルフタイマー
撮影モード
ストロボ撮影
AFフレーム
アカルサ
ホワイトバランス
マクロ撮影
スタンバイ（撮影準備完了）
標準撮影可能枚数
ピクセル/クオリティー
AF/AE警告
手ブレ警告
電池残量警告

M
9999
スタンバイ
1600 N
!AF
[ ]
:+0.6
WB:AUTO

液晶モニターの文字表示例：再生

ストラップを取り付けます

ストラップの小さい方の輪を、ストラップ取り付け部に通します。

次に大きい方の輪の端を、小さい方の輪の中に通して引っ張ります。

電源をセットします

電池で使う

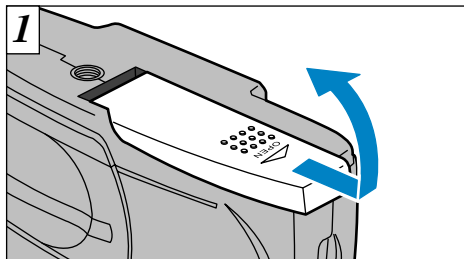
単3形アルカリ乾電池、ニッケル水素電池、またはニカド電池で、同種のものを4本使用します。

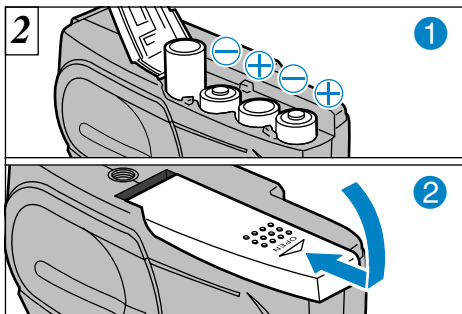
■電池撮影可能枚数(充電式電池はフル充電した場合)

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。

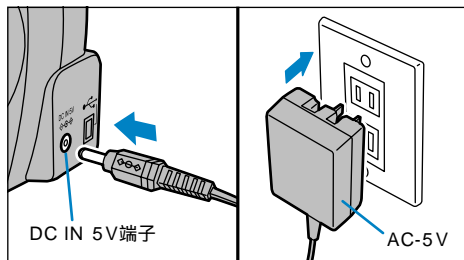
電池の種類	液晶モニターON状態	液晶モニターOFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約200枚	約400枚
ニッケル水素電池 HR-AA	約200枚	約400枚
ニカド電池 KR-AA(HP)	約130枚	約270枚

◆電池について◆

- アルカリ乾電池は銘柄により容量の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命(使用時間)がかなり短い場合があります。
- 特にアルカリ乾電池はその特性上、寒冷地(+10℃以下)では使用時間が短くなります。
- リチウム電池やマンガン乾電池は発熱などにより、本機の故障の原因になることがありますので使用しないでください。

電池カバーを矢印の方向にスライドさせてから開けます。

- ! 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります(➡68ページ)。
- ! 新しい電池と使用した電池を、混ぜて使用しないでください。
- ! 電池を交換するときは必ず電源を切ってください。電源を切らないと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。
- ! 電池の交換は約5分以内に行ってください。各種設定の保持時間は、電池を取り出してから約5分です。
- ! 単3形ニッケル水素電池、ニカド電池の充電には、別売の急速充電器(➡64ページ)が必要です。

❶電池を表示に従って正しくセットします。
❷電池カバーを矢印のように閉めます。

! 電池カバーに無理な力を加えないでください。
! 開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

ACパワーアダプター（別売）で使う

電池の消耗を気にせず撮影・再生で使用するには、専用のACパワーアダプター AC-5VまたはAC-5VHのご使用をおすすめします。
カメラの電源が切れていることを確認してから、AC-5V/AC-5VHの接続プラグをカメラの“DC IN 5V”端子に差し込みます。その後、AC-5V/AC-5VHを電源コンセントに差し込みます。

! AC-5V/AC-5VH以外をお使いになると、本機の故障の原因になることがあります。
! ACパワーアダプターを接続しても、電池の充電はできません。
! ACパワーアダプターについて、詳しくは69ページをご参照ください。

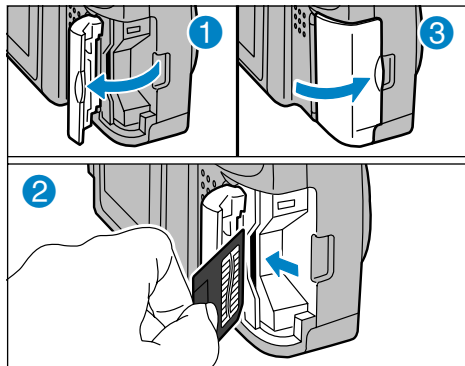
スマートメディア™をセットします

スマートメディア™（別売）

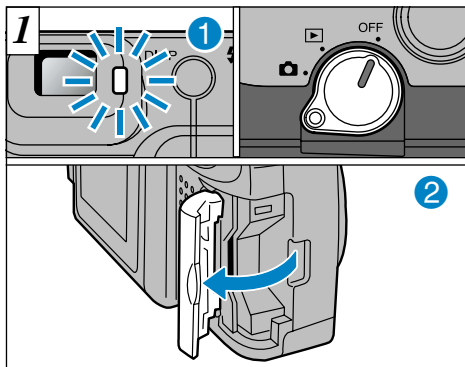
スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

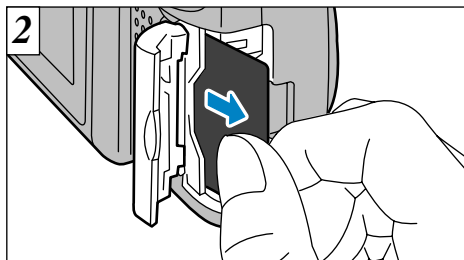
●MG-4SB（4MB）
●MG-8SB（8MB）
●MG-16SB（16MB）
●MG-32SB（32MB）
●MG-16SW（16MB：ID付き）
●MG-32SW（32MB：ID付き）
●MG-64SW（64MB：ID付き）

! ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません（➡51ページ）。
! 本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
! 3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

スマートメディアに記録する場合は、必ず本カメラでスマートメディアのフォーマット（初期化➡46ページ）を行ってください。

❶電源が切れていることを確認し、スロットカバーを矢印の方向に開きます。
❷スマートメディアスロットにスマートメディアを確実に奥まで差し込みます。
❸スロットカバーを閉めます。

! 電源が入った状態でスロットカバーを開けると、スマートメディア保護のため電源が切れます。
! スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

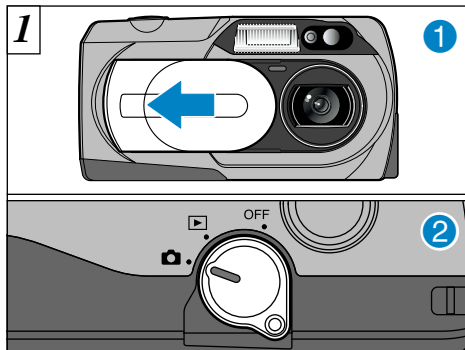
スマートメディア™を取り出します

①ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認し、電源を切ります（モードレバーを“ OFF ”に合わせます）。
②スロットカバーを矢印の方向に開けます。

電源を切らずにスロットカバーを絶対に開けないでください。スマートメディア、または画像データが破壊されることがあります。

スマートメディアをつまんで取り出します。

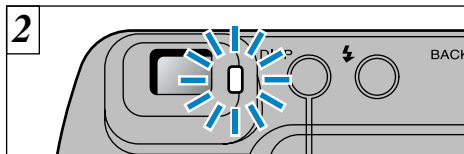
! スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。
! スマートメディアについて、詳しくは70ページをご参照ください。

◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

- プリントするには、52、63ページをご参照ください。
- パソコンに画像を取り込むには、57、58、63ページをご参照ください。

電源のON/OFF

撮影モードで電源を入れるには：
❶レンズカバーを止まるところまで開けます。
❷モードレバーを“ OFF ”から“ ”撮影に合わせます。

再生モードで電源を入れるには：
モードレバーをOFFから、“ ”再生に合わせます。

! 液晶モニターに“ LENS COVER ”の警告が表示されたときは、レンズカバーが完全に開いていません。止まるところまでいっぱいに開けてください。

電源を入れるとファインダーランプ（緑）が点灯します。電源を切るにはモードレバーを“ OFF ”にします。

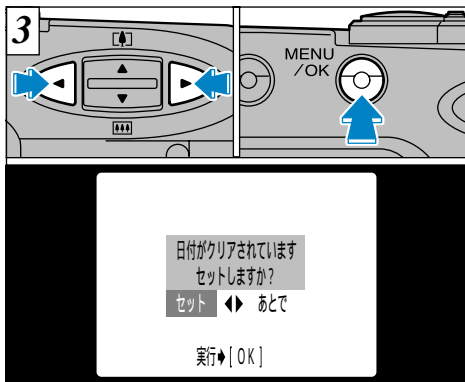
◆レンズカバー警告について◆

撮影モードでは、レンズカバーが開いていないと“ LENS COVER ”と警告されます。
再生モードから撮影モードにするときは、レンズカバーを開けてください。

◆オートパワーオフ機能◆

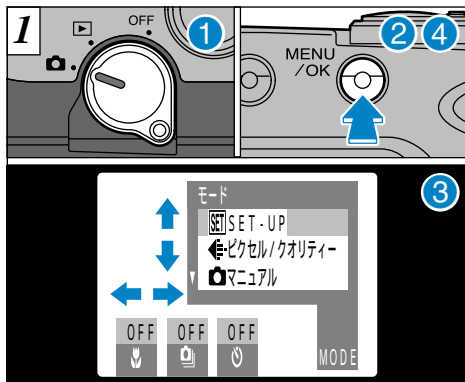
電源を入れたまま約2分間放置すると、電源が自動的に切れます。再度、電源を入れるには、いったんモードレバーを“ OFF ”に戻して、もう一度“ ”撮影または“ ”再生に合わせます。
“ MENU/OK ”ボタンを押しながら電源を入れると、オートパワーオフ機能が無効になります。

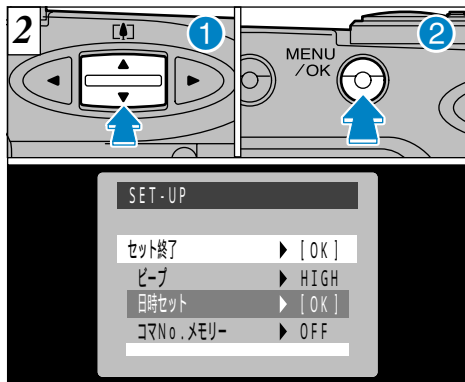
日付がセットされていない場合は、確認画面が表示されます。“◀▶”で次のどちらかを選び、“MENU/OK”ボタンを押します。
セット：日付設定画面に切り換わります。
あとで：撮影/再生モードになります。

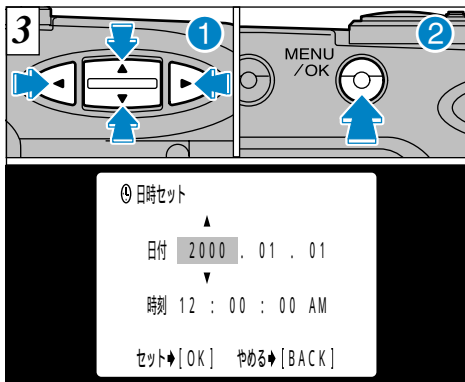
❗日付をセットしないと電源を入れるたび確認画面が表示されます。すぐに“セット”することをおすすめします。
❗日付設定については16ページをご参照ください。

液晶モニターで電池残量警告を確認できます。
❶電池の容量は十分です（表示なし）。
❷電池の容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池を交換することをおすすめします。
❸電池の容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

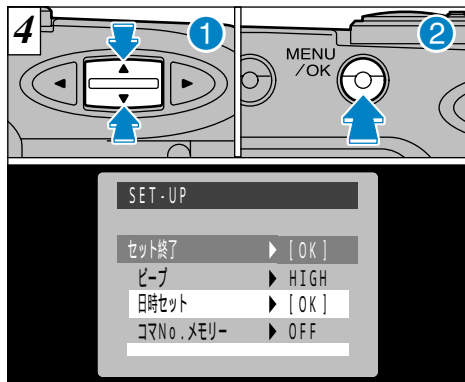
❗電池が消耗している場合、液晶モニターをONにできないことがあります。

1

日時を合わせます

❶レンズカバーが開いていることを確認してから、モードレバーを“ 📷 ”に合わせます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押すと、メニュー画面に切り換わります。
❸“ ◀▶ ”、“ ▲▼ ”で“ SET-UP ”を選びます。
❹“ MENU/OK ”ボタンを押します。

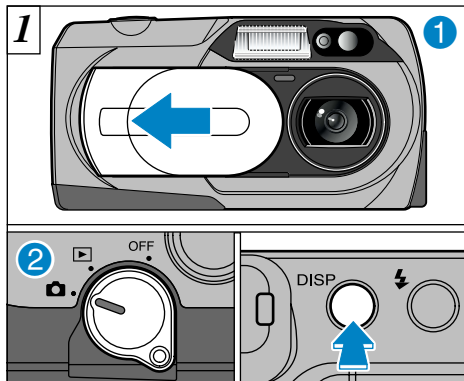
電源を入れたときに日付がクリアされていると、確認画面が表示されます。“ セット ”を選んだ場合は、3 から操作してください（➡次ページ）。

❶“ ▲▼ ”レバーで“ 日時セット ”を選びます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押します。

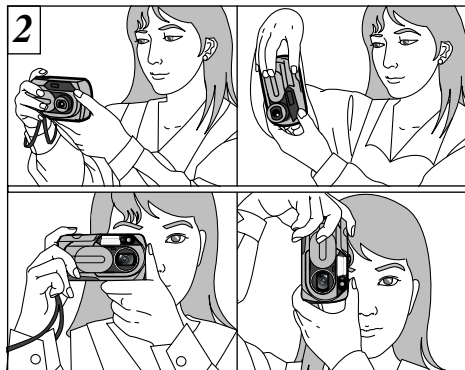
! 電池を5分以上取り出したままにしたり、設定中に電池を取り出したりすると、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。
! SET-UPのメニューについて、詳しくは59ページをご参照ください。

❶"◀▶"ボタンで合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、"▲▼"レバーを押して修正します。
❷合わせ終わったあと、"MENU/OK"ボタンを押して設定します。

❗秒は設定できません。
❗時刻表示で"12:00"を越えると自動的にAM/PMが切り換わります。

セットアップを終了するには、
❶"▲▼"レバーを押して"セット終了"を選びます。
❷"MENU/OK"ボタンを押します。

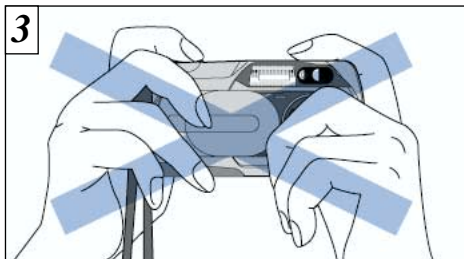
❗撮影モードでの日付表示は、約3秒で消えます。
❗時刻を正確に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に"MENU/OK"ボタンを押します。

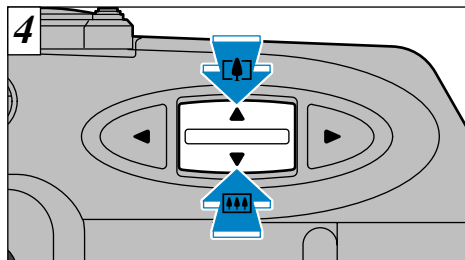
1

撮影してみましょう（オート撮影）

❶レンズカバーを止まるところまで開けます。
❷モードレバーを“ ”に合わせると、レンズが出てきます。

ファインダー撮影（マクロ撮影を除く）では、“ DISP ”ボタンを2回押して、液晶モニターをOFFにすることをおすすめします。
オート撮影では“ DISP ”ボタンを押すたびに「液晶モニターON」→「文字表示なし」→「液晶モニターOFF」の3つの状態に切り換えます。

ストラップに手首を通し、脇をしめて両手でカメラを構えます。
縦位置撮影ではシャッターボタンが上にくるように構えます。

! 液晶モニターに“ LENS COVER ”の警告が表示されたときは、レンズカバーが完全に開いていません。止まるところまでいっぱいに開けてください。
! レンズが出てくるときや撮影中にレンズを指などで押さえないでください。故障の原因になることがあります。

3

レンズやストロボ、ストロボ調光センサーに、指やストラップがかからないようにしてください。

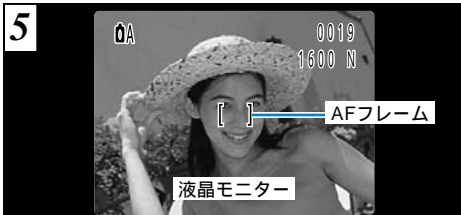
4

被写体を大きく写したいとき（望遠側[♠]）は、“▲▼”レバーを“▲”側に動かします。広い範囲を写したいとき（広角側[♠♠♠]）は、“▲▼”レバーを“▼”側に動かします。

● ストロボ撮影可能距離
広角側：約0.2m〜3.0m
望遠側：約0.8m〜3.0m

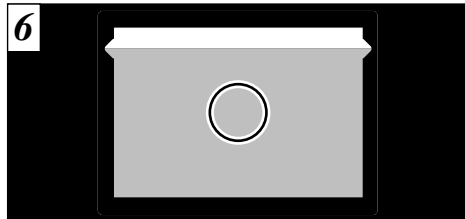
! レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は67ページを参照してレンズをきれいにしてください。

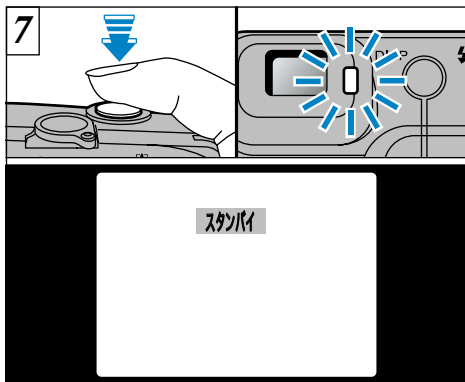
! 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。

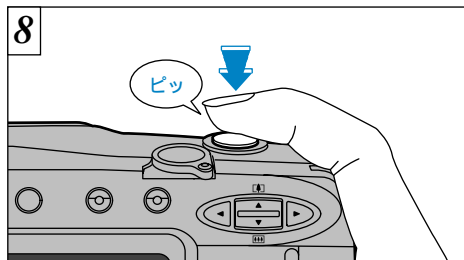
! 焦点距離が6〜18mm（35mmカメラ換算で約38〜114mm相当）の3倍ズームです。

2

液晶モニターまたはファインダーを使って被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

- ! 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡24ページ）。
- ! 薄暗いシーンなど、液晶モニターで被写体の確認がしにくい場合は、ファインダーの使用をおすすめします。

6

ファインダー撮影では被写体までの撮影距離が約0.8m～1.5mの場合、図の　の部分が写されます。

- ! 撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
- ! 撮影モードでの日付表示は、約3秒で消えます。

シャッターボタンを半押しして液晶モニターに“ スタンバイ ”と表示されるか、ファインダーランプ（緑）が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。

- ! シャッターボタンを全押しした場合は“ スタンバイ ”は表示されません。
- ! 80cm以内に近づくと“ スタンバイ ”と表示されてもピントが合いません。その場合は“ 🌷 ”マクロ（近距離）で撮影してください（➡35ページ）。
- ! 暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと、“ ピッ ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像データが記録されます。

- ! ストロボ充電中はファインダーランプが橙色で点滅します。
- ! 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の標準撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。
- ! 警告表示については、72ページをご参照ください。

画像記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影することはできません。また、データ記録中は電源を切ったり、スロットカバーを開けないでください。画像データが破壊消去される原因になります。

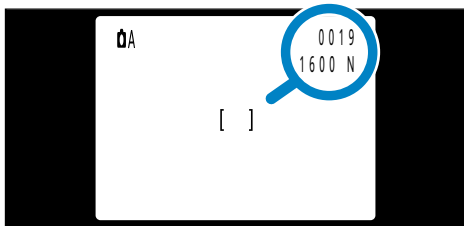
■ファインダーランプ表示について

色	状 態	内　　容
緑	点 灯	準備完了
	点 滅	AF/AE動作中または手ブレ・AF警告
橙	点 灯	スマートメディアに記録中
	点 滅	ストロボ充電中
赤	点 滅	●**レンズカバーが完全に開いていない** ●**スマートメディアについての警告** 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ●**レンズ動作異常** ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡72ページ）。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が遠くて暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
- 高速で移動する被写体

撮影可能枚数について

液晶モニター(左図の位置)に撮影可能枚数が表示されます。

❗ピクセル(画像サイズ)設定の変更とクオリティー(圧縮率)設定の変更は、34ページをご参照ください。

❗工場出荷時設定は、NORMAL(クオリティー)、1600×1200(ピクセル)です。

■スマートメディア標準撮影枚数

[撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。]

ピクセル	1600×1200			1280×960		640×480
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	NORMAL
画像圧縮率	約1/5	約1/10	約1/20	約1/4	約1/8	約1/8
画像1枚のデータサイズ	約760KB	約390KB	約200KB	約610KB	約310KB	約90KB
MG-4S(4MB)	4	9	19	6	12	44
MG-8S(8MB)	10	19	39	12	24	89
MG-16S(16MB)	20	39	75	25	49	164
MG-32S(32MB)	41	79	152	50	99	330
MG-64S(64MB)	82	159	306	101	198	663

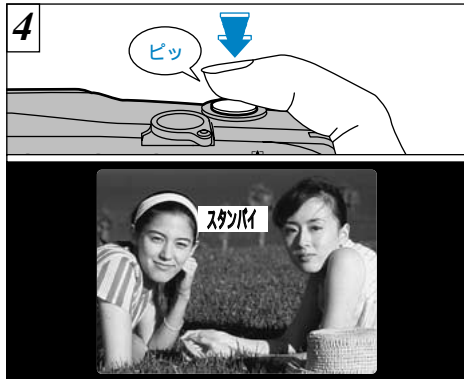
AF/AEロック撮影

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

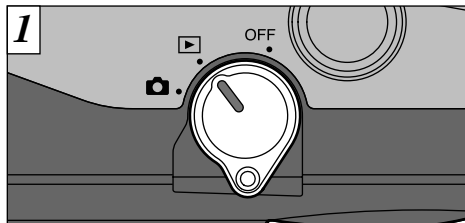
◆AF/AEロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

そのままシャッターボタンを半押し(AF/AEロック)し、液晶モニターの“ スタンバイ ”表示(ファインダーランプ(緑)が点滅から点灯)を確認します。

シャッターボタンを半押し(AF/AEロック)のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

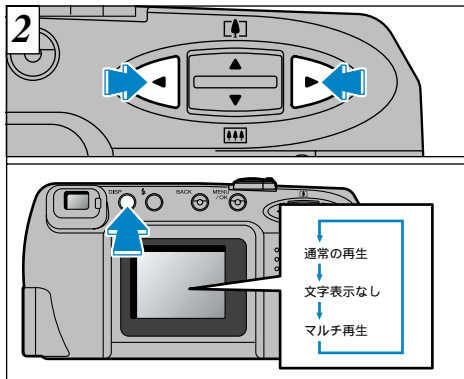
2

- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

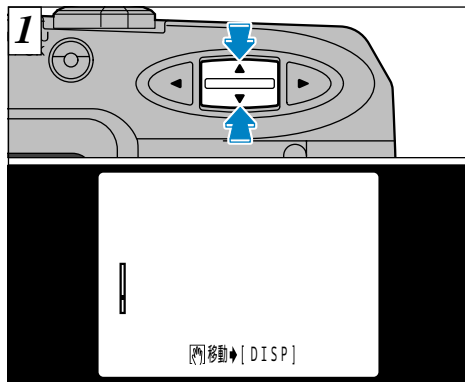
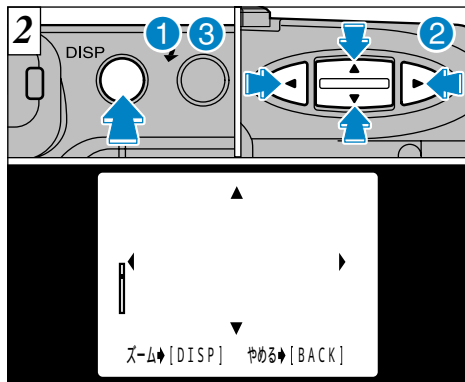
▶ 画像を見るには（再生）

モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。

- モードレバーを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
- レンズカバーを閉めると、レンズを自動的に収納します。
- 液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡62ページ）。

◆再生できるデータについて◆

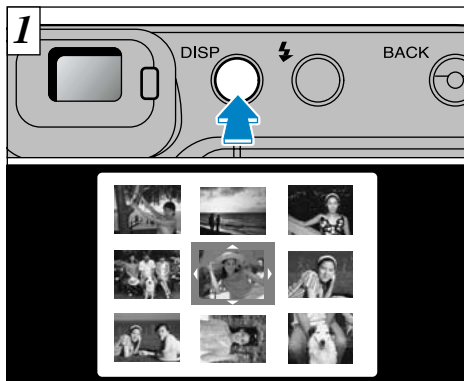
本機で記録した静止画データ、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD/230HD、またそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した静止画（一部非圧縮を除く）データが再生できます。

“ ▶ ”ボタンで順送り、“ ◀ ”ボタンで逆送りして画像を見ることができます。
“ DISP ”ボタンを押すたびに図のように液晶モニターの表示が切り換わります。

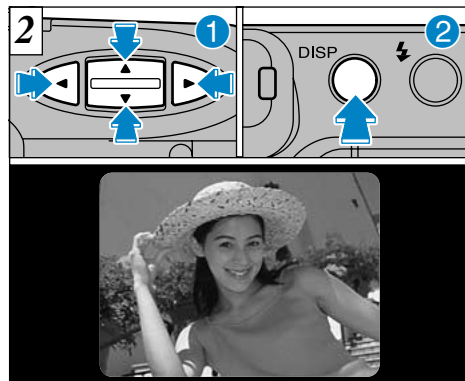
- マルチ再生について詳しくは28ページをご参照ください。

▶ 再生ズーム

再生中に“▲▼”レバーを“▲”側に押すと、ズームバーの範囲内で画像をズームします。

ズームしたあとに、
①“DISP”ボタンを押します。
②“▲▼”レバー、“◀▶”ボタンを押すと、見える範囲が移動できます。
③再度“DISP”ボタンを押すと、ズームに戻ります。

! ズーム倍率は最大4.0×です。
! ズーム中に“◀▶”ボタンを押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

! “BACK”ボタンまたは“MENU/OK”ボタンを押すと、画像が元に戻ります。

2

▶ マルチ再生

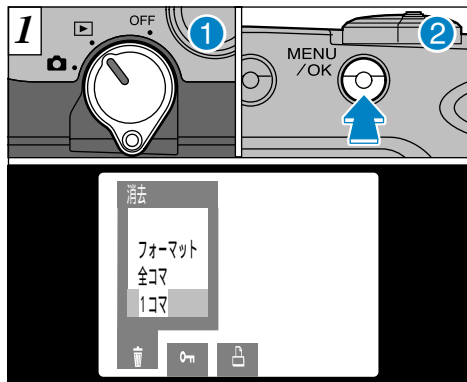
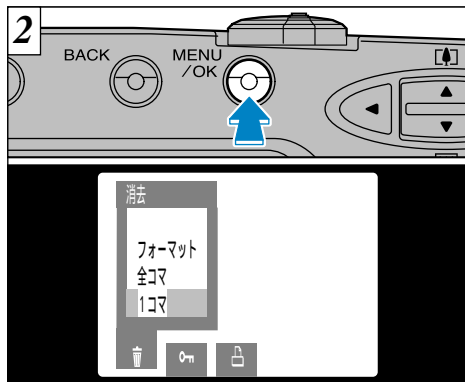
“ DISP ”ボタンを2回押すと、マルチ再生（9コマ）画面になります。

1“ ◀ ▶ ”、“ ▲▼ ”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“ ▲ ”か“ ▼ ”を押すと、次の画面に切り換わります。

2もう一度“ DISP ”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

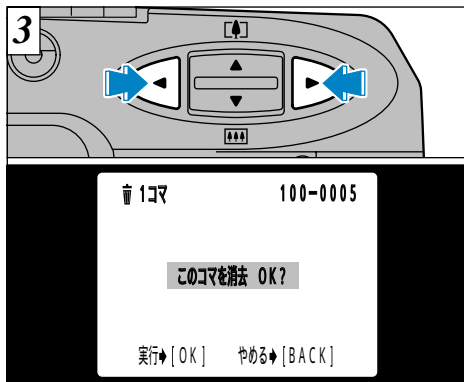
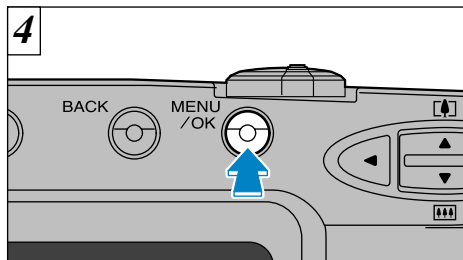
! メニュー画面では、マルチ再生できません。

! マルチ再生画面の液晶モニターの文字表示は、約3秒後に消えます。

! マルチ再生時は“ MENU/OK ”ボタンは無効です。

▶→🗑 画像を消すには(1コマ消去)

❶モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

“ 🗑 消去 ”の“ 1コマ ”を選んだ状態で、“ MENU/OK ”ボタンを押します。

❗全コマ消去、フォーマットについて詳しくは46〜47ページをご参照ください。

▶→🗑 画像を消すには(1コマ消去)

“◀▶”ボタンを押して消去したい画像を表示します。

“MENU/OK”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ このコマを消去 OK? ”が表示されます。

! 消去をやめたい場合は、“ BACK ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するには、もう一度“ BACK ”ボタンを押してください。

! “ PROTECT ”“ DPOF ”が表示された場合は、設定をリセットする必要があります

消去を続けるには、3からの操作を繰り返します。

撮影では

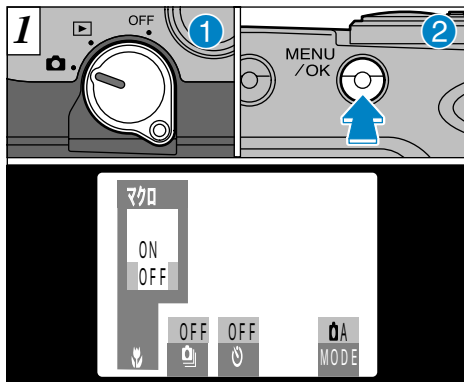
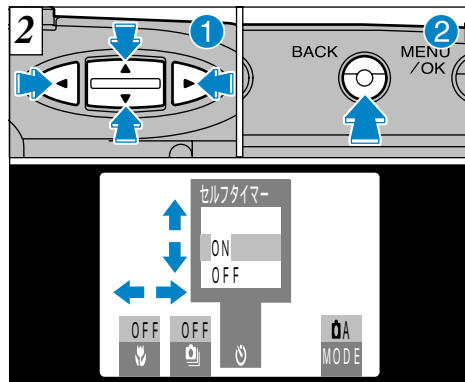
応用編 撮影では、モードレバーを" "に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

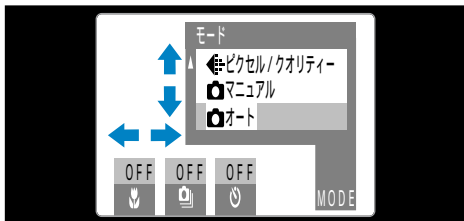
■撮影モード仕様一覧

撮影モード	設定メニュー	工場出荷時
Aオート	マクロ（➡35ページ） [ON/OFF] レンシャ（連写）（➡36ページ） [ON/OFF] セルフタイマー（➡37ページ） [ON/OFF]	OFF OFF OFF
Mマニュアル	マクロ（➡35ページ） [ON/OFF] アカルサ（➡39ページ） [－0.9～＋1.5] ホワイトバランス（➡40ページ） [AUTO / / / 1 / 2 / 3 /]	OFF 0 AUTO
ストロボ	[AUTO（表示なし） / / / / S]	AUTO
ピクセル/ クオリティー	1600・F、 1600・N、 1600・B 1280・F、 1280・N 640・N （F：FINE N：NORMAL B：BASIC）	1600・N

※ストロボ撮影と連写は併用できません。

3

撮影メニューの操作

❶モードレバーを“ 📷 ”に合わせます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押して液晶モニターにメニューを表示します。

❶“ ◀▶ ”ボタンでメニューを選択します。“ ▲▼ ”レバーで設定を変更します。
❷“ BACK ”ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

モードの切り換え

A、M、SET SET-UP、ピクセル／クオリティーを選んで、“ MENU/OK ”ボタンを押します。

A オート

もっとも簡単に撮影ができる撮影用途の広いモードです。

＊(➡35ページ)、(➡36ページ)、(➡37ページ)、の設定ができます。

M マニュアル

メニューの各種設定を組み合わせて撮影できるモードです。

＊(➡35ページ)、(➡39ページ)、WB(➡40ページ)の設定ができます。

＊Mでは“ DISP ”ボタンを押すたびに、「文字＋映像表示」→「映像のみ表示」→「文字のみ表示」の3つの状態を切り換えます。

ピクセル/クオリティー

“ ピクセル/クオリティー ”(➡34ページ)を設定できます。

SET SET-UP

撮影に関する設定を変更できます(➡59ページ)。

撮影メニュー ピクセル(画像サイズ)/クオリティー(圧縮率)

3種類のピクセル(画像サイズ)と、3種類のクオリティー(圧縮率)の組み合わせを選べます。目的に応じた設定をしてください。

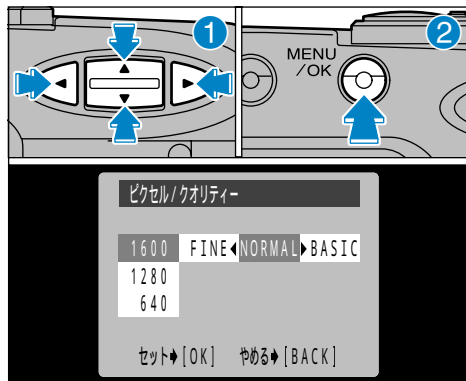
プリントをきれいに仕上げるには

できるだけ大きな画像サイズ(1600×1200)で、低い圧縮率(FINEかNORMAL)を使用します。ただし、1コマのデータ容量が増えるため、撮影可能枚数は少なくなります。

インターネット用途で使用するには

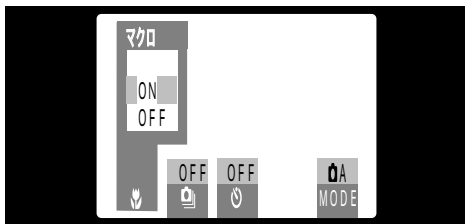
パソコンの画面で見ることが目的なので、小さな画像サイズ(640×480)を使用します。この場合、1コマのデータ容量は小さいため、撮影可能枚数は多くなります。

クオリティー(圧縮率)について

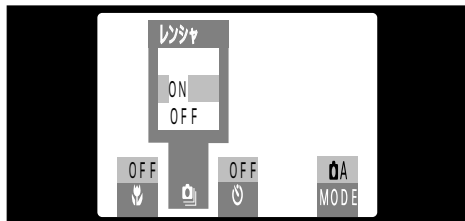
画質を優先する場合は“FINE”を、枚数を優先する場合は“BASIC”を選んでください。
通常は、“NORMAL”で十分な画質が得られます。

❶“▲▼”レバーでピクセル設定を変更し、“◀▶”ボタンでクオリティー設定を変更します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します

! ピクセルとクオリティーの組み合わせは、全部で6種類になります(➡23ページ)。

撮影メニュー マクロ（近距離）撮影

撮影モードが“ A ”、“ M ”で設定できます。
“ ON ”を選択すると、レンズが自動的に広角側（ ）いっぱいに移動し、マクロ撮影になります。

マクロ撮影では、約10cm〜80cmの近距離撮影ができます。
また、撮影の状況に応じてストロボ撮影の設定をしてください（➡41ページ）。

- 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- ストロボを使用する場合には20cm以上離れてください。
- マクロ撮影では、光学ズームできません。デジタル拡大撮影（➡44ページ）は可能です。
- 電源が切れると、マクロ撮影は解除されます。

マクロ撮影でファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
マクロ撮影中は、液晶モニターは消せません。

レンシャ（連写）

撮影モードが“ A ”で設定できます。
“ ON ”にすると、次の設定が自動的に切り換ります。

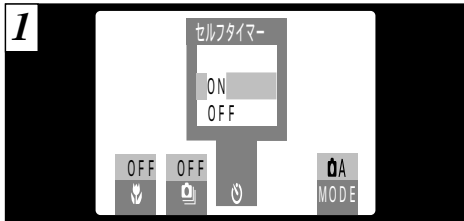
ピクセル：“ 640×480 ” に固定
ストロボ：発光禁止モードに固定

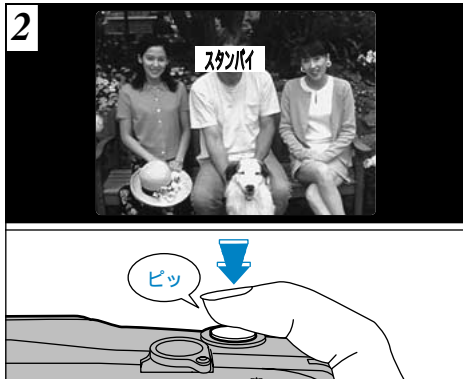
シャッターボタンを押している間、連続撮影します。

● 連写仕様
秒間撮影枚数：約1.5コマ
連続撮影枚数：最大9コマ
画像サイズ　：640×480ピクセル固定

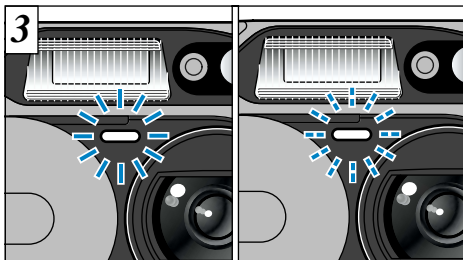
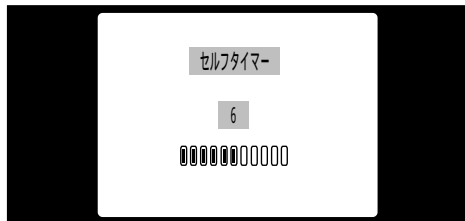
- レンシャ（連写）時は液晶モニターOFFにはできません。
- ピントと露出は、シャッターボタンを押したときの状態で固定されます。
- セルフタイマー撮影時は、9コマ撮影になります。
- 電源が切れると連写撮影は解除されます。
- デジタル拡大撮影もできます。

セルフタイマー撮影

1

撮影モードが“ A ”で設定できます。“ セルフタイマー ”を選択し、“▲▼ ”レバーで“ ON ”を選択すると、セルフタイマー撮影になります。

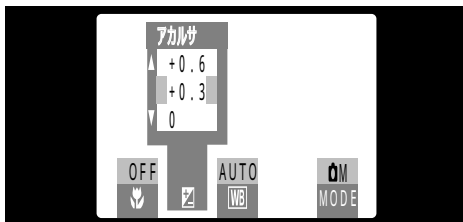
2

被写体にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押すとAFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーがスタートします。

AF/AEロック撮影もできます（➡24ページ）。

カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン表示されます。

❗撮影後はセルフタイマー設定は解除されます。

❗スタートしたセルフタイマー撮影は、“ BACK ”ボタンを押すと解除できます。

アカルサ（露出補正）

撮影モードが“ M ”で使用できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

- **補正範囲は9段（－0.9～＋1.5EV，約0.3EVステップ）です。EVについては66ページをご参照ください。**

！次のような状態では、“ アカルサ ”設定が無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光ストロボで撮影シーンが暗いとき

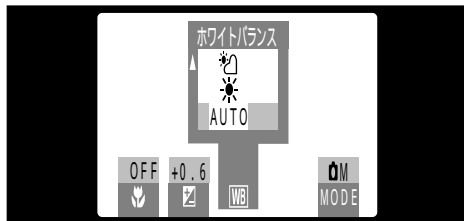
◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写（＋1.5EV）
- 逆光の人物撮影（＋0.6～＋1.5EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合（＋0.9EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合（＋0.9EV）

－（マイナス）補正

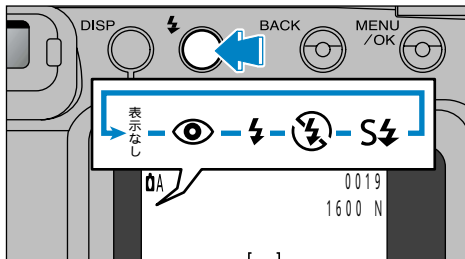
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合（－0.6EV）
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写（－0.6EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合（－0.6EV）

＊（　）内は補正のめやすです。

WB ホワイトバランス

撮影モードが“ M ”で使用できます。
撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。
ホワイトバランスについては66ページをご参照ください。

AUTO ：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
1 ：昼光色蛍光灯下での撮影
2 ：昼白色蛍光灯下での撮影
3 ：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止にしてください。

⚡ ストロボ撮影

撮影の目的に合わせて5種類のストロボ撮影が選べます。"⚡"ストロボボタンを押すたびに、液晶モニターに"オートストロボ（表示なし）→👁→⚡→🚫⚡→S⚡"の順に表示され、最後に表示したストロボ撮影が選択されます。

● ストロボ撮影可能距離
広角側：約0.2m～3.0m
望遠側：約0.8m～3.0m

❗ストロボ発光禁止に設定した場合は、電源を入れてから撮影可能になるまでの時間が短くなります。

❗ストロボを発光禁止からそれ以外に切り換えた場合、充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときファインダーランプが橙色で点滅します。

オートストロボ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボ発光禁止

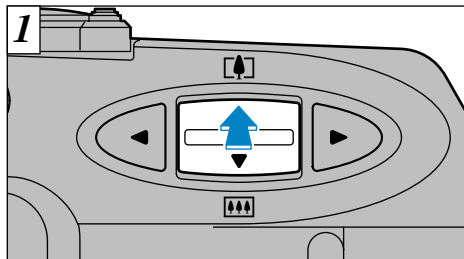
ストロボの発光を禁止します。
室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡66ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

! 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
! 手ブレ警告については、22、73ページをご参照ください。

スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

! スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

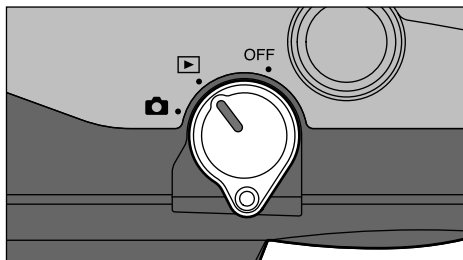
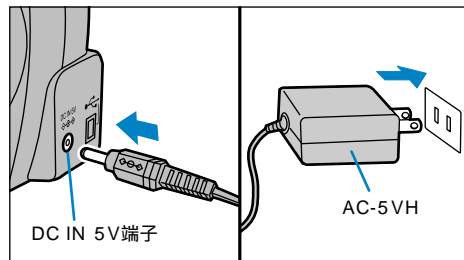
3

デジタル拡大撮影

デジタル拡大撮影は、画面中央部分を拡大して撮影できます。
ピクセル設定が“1280”、“640”で液晶モニターを使った撮影のみで使えます。

光学ズームに続いてもう一度“▲▼”レバーを望遠側( )に押すと、デジタル拡大撮影になります。
“▲”を押すと拡大し、液晶モニターに倍率が表示されます。“▼”を押すと1段階前の状態に戻ります。
640：デジタル拡大なし⇔1.3×⇔2.5×
1280：デジタル拡大なし⇔1.3×

! 光学ズームの操作について詳しくは19ページをご参照ください。

! マクロ撮影では、光学ズームは広角側に固定のため“▲▼”レバーを望遠側( )に押すとデジタル拡大撮影になります。

▶ 再生では

ここでは、モードレバーを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能を紹介します。このあとの操作説明は、モードレバーが“ ▶ ”に合っていることを前提に説明します。

また、コンセントが近くにある場合は、画像を再生している最中に電源が切れないように、ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH（別売）の使用をおすすめします（➡11、64ページ）。

1コマ・全コマ消去/フォーマット

1コマ消去

選んだ画像だけを消去します。

! プロテクトした画像(➡48、50ページ)、DPOFセットした画像(➡54、56ページ)は消去できません。

全コマ消去

すべての画像を消去します。

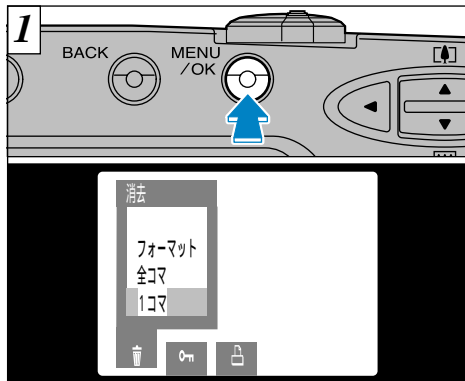
! プロテクトした画像、DPOFセットした画像は消去できません。

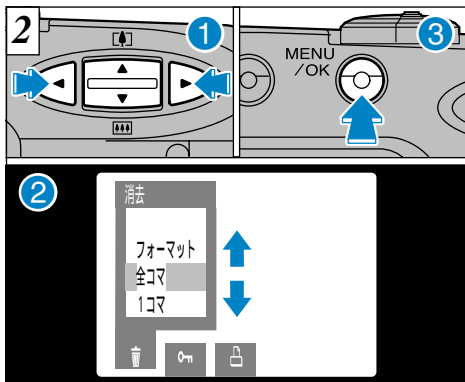
フォーマット

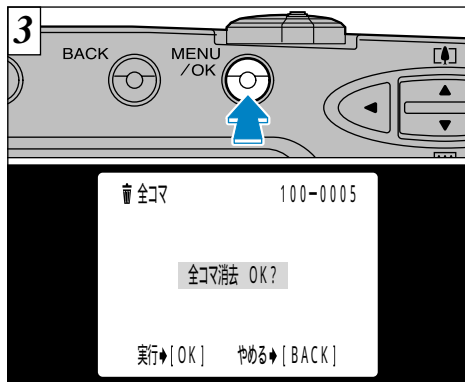
すべてのデータを消去してこのカメラ用に作り直します(スマートメディアの初期化)。

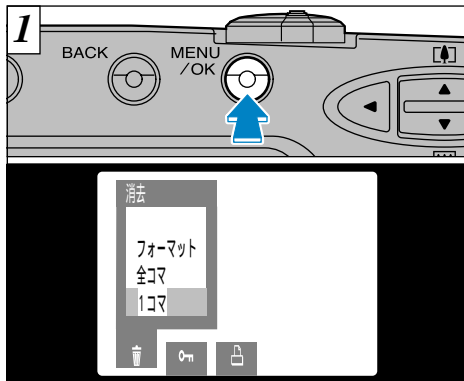
! プロテクトした画像、DPOFセットした画像も消去します。

! “ CARD ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面(金色の部分)を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再度セットしてください。それでも表示される場合は、フォーマットをします。

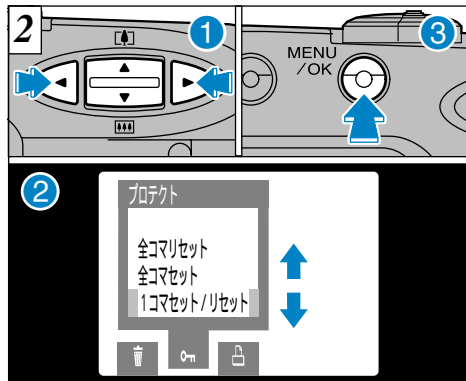
! “ CARD NOT INITIALIZED ”が表示された場合には、フォーマットをします。

“ MENU/OK ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

! メニューを解除するには“ BACK ”ボタンを押します。

❶"◀▶"ボタンを押して"🗑消去"を選びます。
❷"▲▼"レバーを押して"1コマ"か"全コマ"か"フォーマット"を選びます。
❸"MENU/OK"ボタンを押します。

フォーマットするとすべての画像が消去されます。

実行を確認する画面が表示されます。全コマ消去かフォーマットでは、OKなら"MENU/OK"ボタンを押して実行します。1コマ消去では消去したい画像を"◀▶"ボタンで選んでから、"MENU/OK"ボタンを押します。

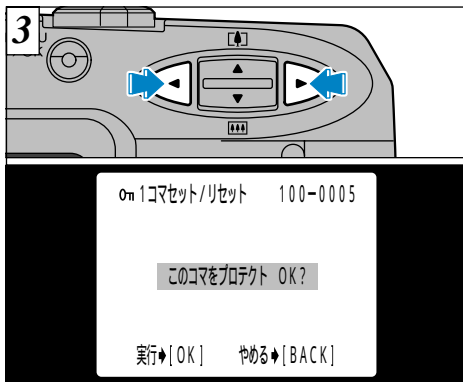
! 1コマ・全コマ消去/フォーマットをやめたい場合は、"BACK"ボタンを押してください。
! "PROTECT""DPOF"が表示された場合は、設定をリセットする必要があります。

4

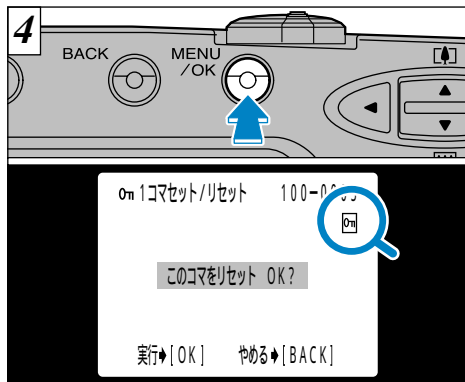
再生メニュー O┳ 1コマプロテクト セット/リセット

“ MENU/OK ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❶“ ◀ ▶ ”ボタンを押して“ O┳ プロテクト ”を選びます。

❷“ ▲▼ ”レバーで“ 1コマ セット/リセット ”を選びます。

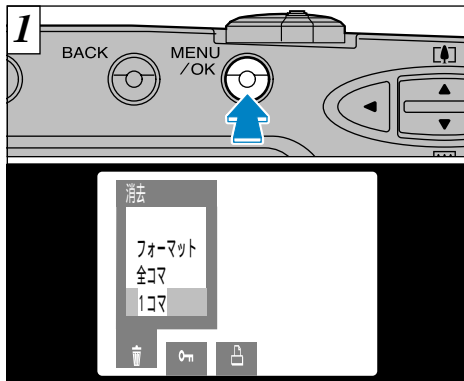
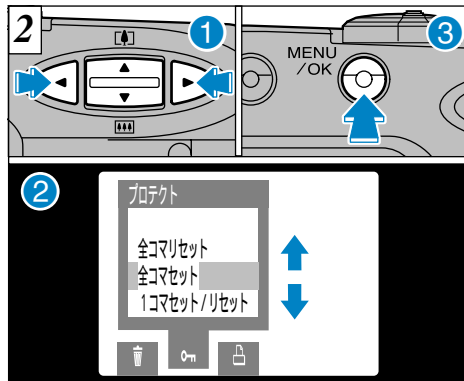
❸“ MENU/OK ”ボタンを押します。

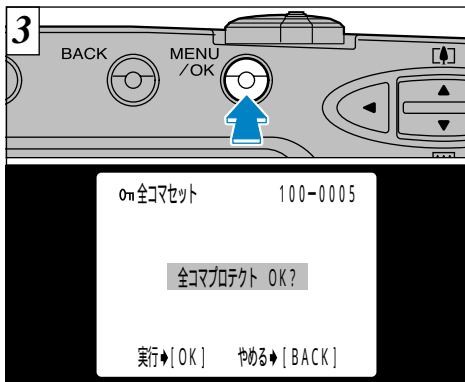
プロテクトとは、画像を誤って消去しないように設定することです。ただし“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます（➡46ページ）。

“◀▶”ボタンを押してプロテクトしたい画像を選びます。

プロテクトをやめたい場合は、“ BACK ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ BACK ”ボタンを押してください。

“ MENU/OK ”ボタンを押すと画像がプロテクトされ、液晶モニターの右上に“ 0ᅲ ”が表示されます。
プロテクトをリセットするには、もう一度“ MENU/OK ”ボタンを押します。

プロテクトを続けるには、3からの操作を繰り返します。

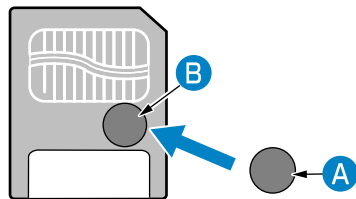
4

再生メニュー 全コマプロテクト セット/リセット

“ MENU/OK ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❶“ ◀ ▶ ”ボタンを押して“ プロテクト ”を選びます。
❷“ ▲▼ ”レバーで“ 全コマ セット ”が“ 全コマ リセット ”を選びます。
❸“ MENU/OK ”ボタンを押します。

プロテクトされていても、“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます（➡46ページ）。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ MENU/OK ”ボタンを押して実行します。

! プロテクトをやめたい場合は、“ BACK ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ BACK ”ボタンを押してください。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。
ライトプロテクトシールは別売のスマートメディアに同梱されています。

＊必ず専用のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは70ページをご参照ください。

再生メニュー DPOFについて

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

デジタルカメラ

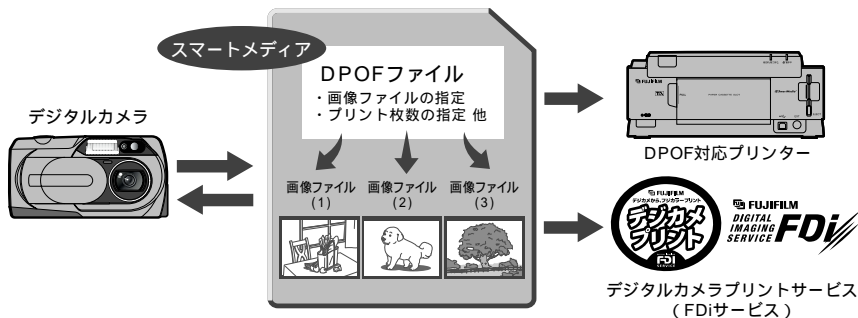
スマートメディア

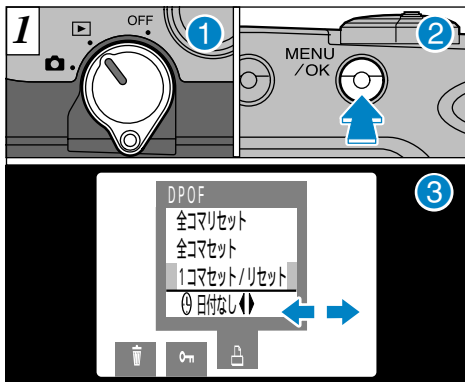
DPOFファイル
・画像ファイルの指定
・プリント枚数の指定 他

画像ファイル（1） 画像ファイル（2） 画像ファイル（3）

DPOF対応プリンター

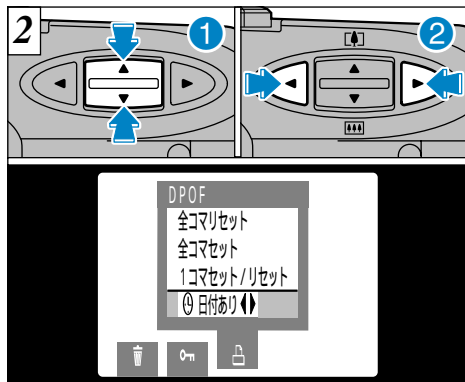
FUJIFILM DIGITAL IMAGING SERVICE FDi

デジタルカメラプリントサービス
（FDiサービス）

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディアに記録ができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディアを、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

再生メニュー DPOF 日付設定

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。

❶モードレバーを“ ▶ ”に合わせ、

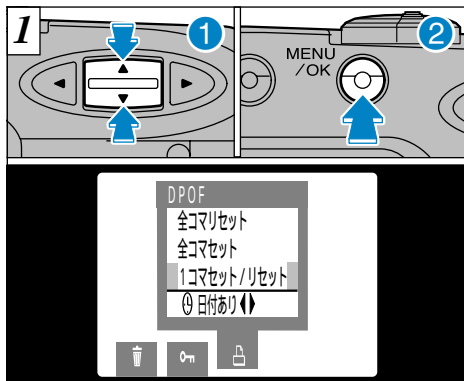
❷“ MENU/OK ”ボタンを押して、液晶モニターにメニューを表示させます。

❸“ ◀ ▶ ”ボタンを押して“ DPOF ”を選びます。

❶“ ▲▼ ”レバーで“ 日付 ”を選びます。

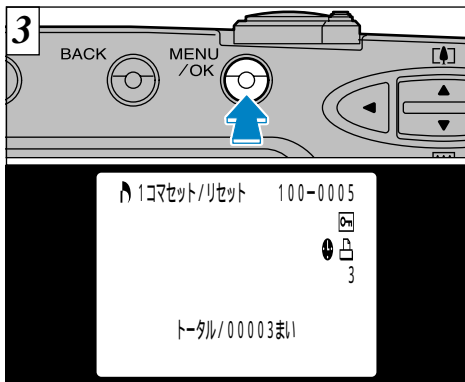
❷“ ◀ ▶ ”ボタンを押すと、“ 日付あり ”か“ 日付なし ”が設定できます。その後、設定を変更するまですべてに有効です。

! 他の設定の前に、必ず日付あり/なしの設定を行ってください。

再生メニュー DPOF 1コマセット/リセット

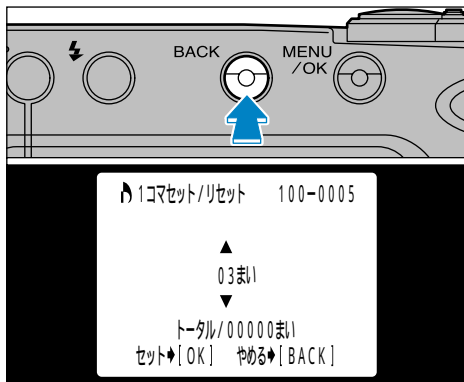
❶“▲▼”レバーで“1コマセット/リセット”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

❶“◀▶”ボタンを押してセットするコマを表示させます。
❷“▲▼”レバーでプリント枚数を指定します。

! セットの前に、必ず日付あり/なしをセットしてください。
! 1コマセットのあとに全コマセットを行うと、1コマセットでセットしたプリント枚数は解除されます。

! プリントしないときは、“00まい”にリセットしてください。
! “◀▶”でコマを送るか、“MENU/OK”を押すまでは設定は保存されません。
! 指定できるプリント枚数は1コマにつき99枚までです。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

〈実行する場合〉

設定が終わったら、必ず“ MENU/OK ”ボタンを押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。

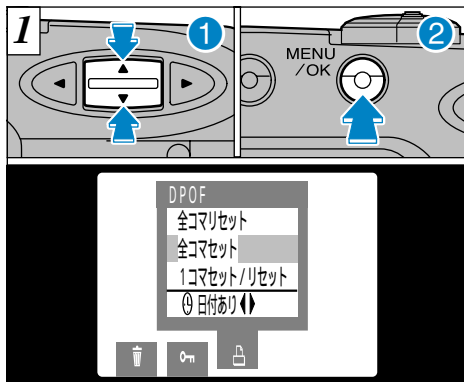
確定したコマには“ 🖨 ”とプリント枚数、日付設定ありの場合は“ 🕒 ”が表示されます。

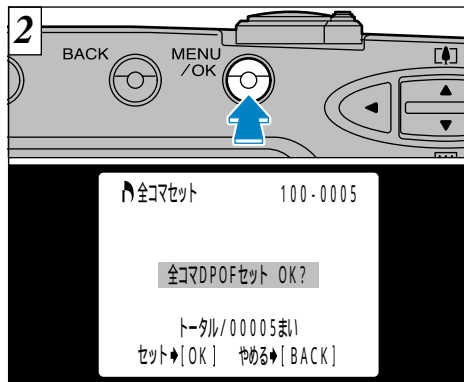
❗“ トータル ”は指定したプリント枚数の合計です。

〈キャンセルする場合〉

“ BACK ”ボタンを押すと、選択中のコマのみキャンセルされます。それ以外のコマはキャンセルされません。

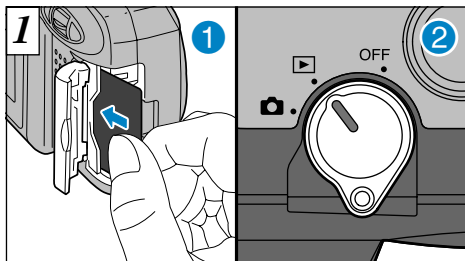
1コマのセット/リセットを続けるには、2からの操作を繰り返します。

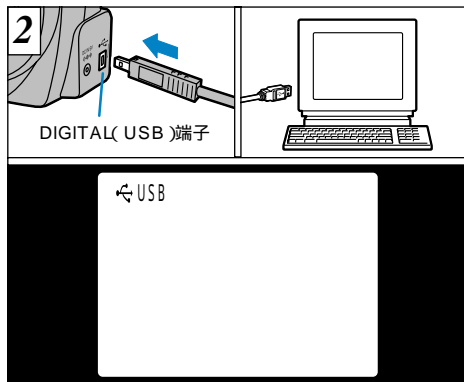
4

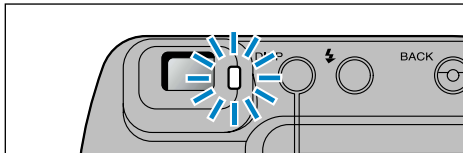
再生メニュー DPOF 全コマセット/リセット

❶"▲▼"レバーで"全コマセット"または"全コマリセット"を選びます。
❷"MENU/OK"ボタンを押します。

❗"全コマセット"は、すべての画像を1枚ずつプリントする指定をします。
❗"1コマセット"での指定は解除されます。
❗同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は、999コマまでです。999コマ以上の指定をすると"DPOF FILE ERROR"警告が出ます。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら"MENU/OK"ボタンを押して実行します。
液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。

❗"トータル"は指定したプリント枚数の合計です。
❗"全コマリセット"した場合"トータル"は"00000まい"になります。

パソコンに画像を転送するには

❶**電源が切れていることを確認し（➡14ページ）、スマートメディアをセットしてください（➡12ページ）。**
❷**モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。**

❗Windows 98（Second Editionを含む）、Windows 2000 Professional、MacOS8.5.1〜MacOS9.0で利用可能です。
ただし、USBポートのある機種（自作パソコンは動作保証外です）に限ります。
❗パソコンと接続されているときは、オートパワーオフしません。

カメラのデジタル（USB）端子に専用USBケーブルの小さいプラグを接続し、もう片方のプラグをパソコンのUSB端子に接続します。
パソコンの電源が入っていると液晶モニターの左上に“ USB ”が表示されます。

❗専用USBケーブル以外は使用しないでください。
❗ソフトウェアのインストールのしかたと使いかたは付属のUSBインターフェースセットの簡単操作ガイドをご覧ください。

ファインダーランプが橙色に点灯または点滅しているときは、“アクセス中”(転送中)です。アクセス中は、絶対にスロットカバーを開けたり、ケーブルを抜いたりしないでください。データが転送されなかったり、カメラが正常に作動しない場合があります。

◆スマートメディアを交換するときは◆

❶次のことを確認、操作します。

- **Windows 98の場合**
  ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します。
- **Windows 2000 Professionalの場合**
  ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します。確認できたら、タスクバー上の「取り出し」アイコンをクリックします。
- **Macintoshの場合**
  ファインダーランプが緑色に点灯していることを確認します。確認できたら、デスクトップ上の「リムーバブルドライブ」アイコンを「ごみ箱」にドラッグ＆ドロップします。

❷カメラの電源をOFFにしてスマートメディアを交換します。

! 必ず付属のUSBインターフェイスセットをご使用ください。従来品はご使用になれません。
従来品がパソコンにインストールされている場合は、アンインストールしてから、付属のインターフェイスセットのソフトウェアをインストールしなおしてください。

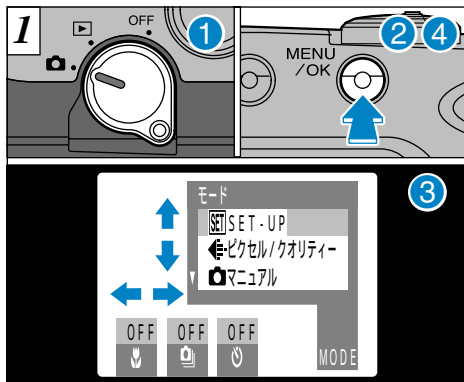
! ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH(別売)の接続をおすすめします(➡11ページ)。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

! スロットカバーを開けると電源が切れます。

SET セットアップ

▶設定事項は次のとおりです。

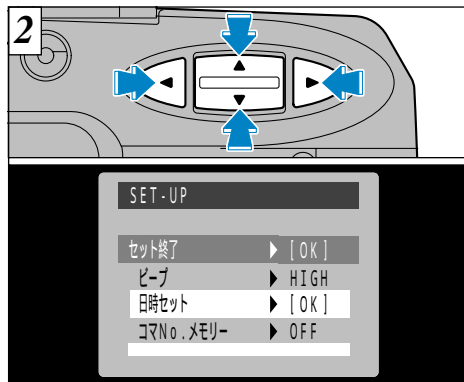
項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
セット終了	OK	―	セットアップを終了します。
ビープ	HIGH/LOW/OFF	HIGH	操作したときのブザー音量を切り換えます。“ OFF ”にすると音が鳴りません。
日時セット	OK	―	日付・時刻を設定できます（➡16ページ）。
コマNo.メモリー	ON/OFF	OFF	コマNo.メモリー機能を使用するかしないかを切り換えます（➡61ページ）。

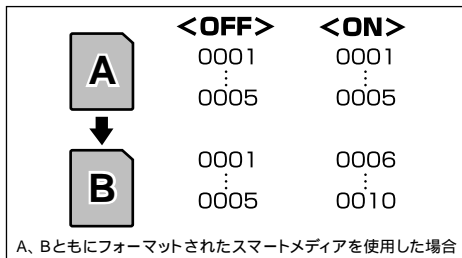
操作のしかたは次のページをご参照ください。

次の手順でセットアップ画面にします。

❶レンズカバーが止まるところまで開いていることを確認し、モードレバーを“ 📷 ”に合わせます。

❷“ MENU/OK ”ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

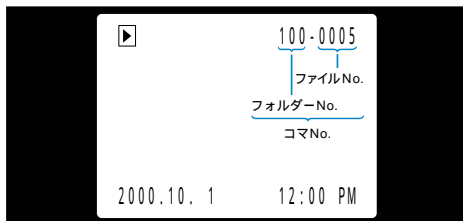
❸“ ◀▶、▲▼ ”で“ SET-UP ”を選びます。

❹“ MENU/OK ”ボタンを押すとセットアップ画面になります。

“ ▲▼ ”レバーで項目を選び、“ ◀▶ ”ボタンを押して設定を変更して決定できます(日時を除く)。終了するには“ セット終了 ”を選んで、“ MENU/OK ”ボタンを押してください。
撮影画面に戻ります。

コマNo.メモリー設定

OFF：スマートメディアごとに「ファイルNo. 0001」から撮影

ON　：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

“ ON ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

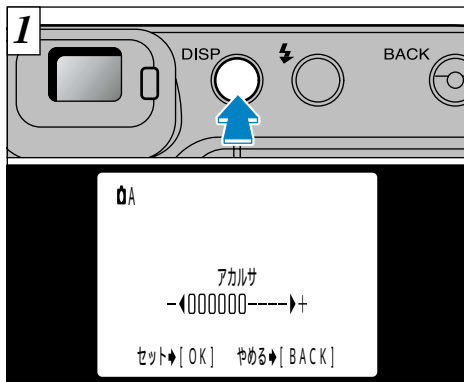
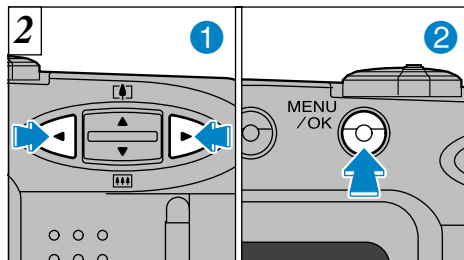
! 記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上の3けたはフォルダーNo.です。

! スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってからスロットカバーを開けてください。電源を切らずにスロットカバーを開けると、コマNo.メモリーが機能しません。

! ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。最大で999−9999までカウントされます。

! コマNo.メモリーを“ OFF ”にすると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。

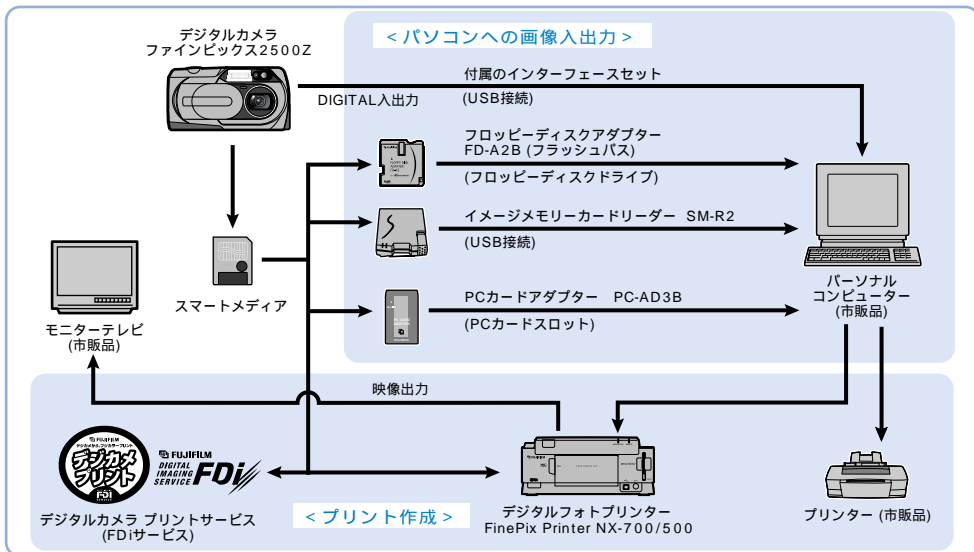
! 他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。

液晶モニターの明るさ調節

約2秒間“ DISP ”ボタンを押し続けると、明るさ調節画面が表示されます。

❶“ ◀ ▶ ”ボタンを押して明るさを調節します。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押して決定します。

❗設定を変更しない場合は、“ BACK ”ボタンを押してください。

❗液晶モニターがOFFのときと、撮影モードで文字表示のないとき(➡18、26、33ページ)は設定を変更できません。

システムアップ機器（別売）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

平成12年10月現在

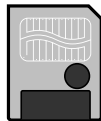
その他 別売アクセサリーの紹介（平成12年10月現在）

▶使いかたや、接続のしかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

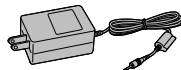
●スマートメディア™

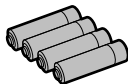
別売のスマートメディアです。以下のものがお使いいただけます。

- ●MG-4SB　：　4MB、3.3V仕様
- ●MG-8SB　：　8MB、3.3V仕様
- ●MG-16SB：16MB、3.3V仕様
- ●MG-32SB：32MB、3.3V仕様
- ●MG-16SW：16MB、3.3V仕様（ID付き）
- ●MG-32SW：32MB、3.3V仕様（ID付き）
- ●MG-64SW：64MB、3.3V仕様（ID付き）

＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

●ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH

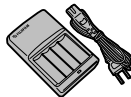
AC-5VH

長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100V～240V、50/60Hz 対応）

●単3形ニッケル水素電池 HR-AA「ニッケル水素1600」

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
4本パック「型名 HR-AA/4B」をお買い求めください。

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）＊AC100V対応

「ニッケル水素1600」4本を約170分間で充電できます。
ニカド電池「ハイパワー1000」4本を約120分間で充電できます。

●ニッケル水素/ニカド急速充電器ワールドタイプ（FNW）＊AC100V～240V対応

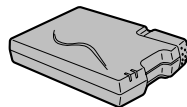
「ニッケル水素1600」4本を約210分間で充電できます。
ニカド電池「ハイパワー1000」4本を約130分間で充電できます。

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス）

通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

- フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
  Windows95/98/98 Second Edition（DOS/V機）
  Windows95 4.00.950B OSR2以降/98（NEC PC-9821シリーズ）
  Mac OS7.6.1〜8.1/Power Macintosh（読み込みのみ）

●イメージメモリーカードリーダー SM-R2

イメージメモリーカード（スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なデータ転送を行います。

- Windows98（Second Editionを含む）、Windows2000 Professional/iMac、およびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh/Mac OS8.5〜9

●PCカードアダプター PC-AD3B

スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1/JEIDA4.2）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。

●ソフトケース SC-FX4

ナイロン製の専用のケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

用語の解説

AF/AEロック：このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exifファイル形式：Exif（イグジフ）は、日本電子工業振興協会（JEIDA）で承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF（ティフ）やJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG：JPEG（ジェイペグ）は、カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

オートパワーオフ機能：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、このカメラでは約2分間何も操作をしないと自動的に電源をOFFします。
オートパワーオフを無効にした場合またはUSB接続時は、オートパワーオフしません。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

使用上のご注意

▶ **ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。**

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- ●湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- ●振動の激しいところ
- ●油煙や湯気の当たるところ
- ●強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつく（結露）ことがあります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなるのを待ってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池・スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- ●カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- ●このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ●海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池や単3形ニカド電池を使用してください。
  単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池は、電池の発熱などにより本機の故障や事故の原因になることがありますので使用しないでください。
- アルカリ乾電池は銘柄により容量の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命（使用時間）がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、４本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、ニッケル水素電池/ニカド電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋１０℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ **万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。**

⚠ **電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。**

■電池の破棄について

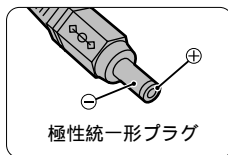
電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池（ニッケル水素電池/ニカド電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池/ニカド電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池/ニカド電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池/ニカド電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池/ニカド電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプターAC-5V/AC-5VH（別売、EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。AC-5V/AC-5VH以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 電池動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中に電池を入れたり、交換したりしないでください。一度電源を切ってから行ってください。
- 電池がない状態でACパワーアダプターを抜くと、日時がクリアされる場合があります。その場合は、日時をセットし直してください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて
デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia™（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像データが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像データを消去したり、再び記録することができます。

■ID付きスマートメディアについて
SmartMedia™ ID（ID付きSmartMedia）は、スマートメディア個々に番号（ID）を割り振ったもので、IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。本機では従来のスマートメディアと同様に使用できます。

■データ保持について
以下の場合、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。記録したデータの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意
●スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
●スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
●指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
●スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
●強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
●高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
●スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
●スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気に

よる影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアにかからないように、はってください。
- 万一、当社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像データは、このフォルダー内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダー名やファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
- 画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。
- パソコンからスマートメディアに画像データを記録または消去する場合、あるいはスマートメディアに本カメラで記録された画像を読み出す場合は、別売のUSBインターフェースセットをご使用ください。

■主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia™（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37×45×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
(電池マーク)	カメラの電池の容量が少ない。	電池を交換するか、充電してください。
!NO CARD	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディア(3.3V仕様)を正しい向きに入れてください。
!CARD NOT INITIALIZED	スマートメディアがフォーマット(初期化)されていない。	スマートメディアをフォーマットしてください。
!CARD ERROR	●スマートメディアの接触面(金色の部分)が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。	スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。
!CARD FULL	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
!PROTECTED CARD	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
!READ ERROR	●正常に記録されていないデータを再生した。 ●カメラで記録したデータ以外のコマを再生した。	再生することはできません。
!DPOF	DPOF指定されているコマを消去しようとした。	DPOFをリセットしてください。

警告表示	警告内容	処　　置
FILE NO. FULL	コマNo.が999―9999に達している。	コマNo.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。
(手ブレ警告表示)	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	三脚を使用するか、ストロボをオート、赤目軽減、強制発光にしてください。
PROTECT	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトをリセットしてください。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	●暗い場所は被写体から1.5m以上離れて撮影してください。 ●AF/AEロック撮影をしてください。
!AE	AE連動範囲外です。	撮影できますが、適正露出ではありません。
DPOFファイル再設定 OK?	DPOFファイルにエラーがある。または、他の機器で設定したDPOFファイルです。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“ MENU/OK ”ボタンを押してください。
DPOF FILE ERROR	DPOFのコマ設定で1000コマを超えてプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
LENS COVER	レンズカバーが開いていない。	レンズカバーを開けてください。
LENS ERROR	レンズが誤作動または故障しています。	電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。 ●モードレバーの設定位置がずれている。	●新しい電池と交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。 ●モードレバーを正しい位置に設定する。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。	●新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふく。 ●新しい電池と交換する。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●レンズカバーが開いていない。 ●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が入っていない。 ●電池が消耗している。	●レンズカバーを開ける。 ●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。 ●新しい電池と交換する。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボが発光禁止になっている。	●ストロボをオート、赤目軽減、強制発光またはスローシンクロにする。

症　　状	原　　因	処　　置
ストロボ撮影ができない。	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●撮影モードが連写になっている	●充電が完了してからシャッターボタンを押す。 ●連写をOFFにする。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボが発光禁止になっている。 ●電池が消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 ●ストロボをオート、赤目軽減、強制発光またはスローシンクロにする。 ●新しい電池と交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指がかかっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●遠景をマクロ撮影した。	●レンズを清掃する。 ●マクロ撮影を解除する。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。
全コマで、すべてのコマが消せない。	●コマがプロテクトされている。 ●コマがDPOF指定されている。	●プロテクトをリセットする。 ●DPOFをリセットする。
カメラのボタンやレバーを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●モードレバーの設定位置がずれている。 ●電池が消耗している。	●電源（電池）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードレバーを正しい位置に設定する。 ●新しい電池と交換する。
電源を入れても液晶モニターに画像が表示されない。	●モードレバーの設定位置がずれている。	●モードレバーを正しい位置に設定する。

主な仕様

システム

●**型式**
デジタルカメラ
●**記録メディア**
スマートメディア（3.3V仕様）
●**記録方式**
DCF準拠（Exif Ver.2.1 JPEG準拠）/DPOF対応
●**記録画素数**
1600×1200ピクセル/1280×960ピクセル/640×480ピクセル
●**撮像素子**
1/2.7型正方画素原色インターライン方式CCD
総画素数：約211万
●**撮像感度**
ISO100相当
●**レンズ**
フジノン光学式3倍ズームレンズ
●**焦点距離**
f=6～18mm（35mmカメラ換算 38～114mm相当）
●**ファインダー**
実像式光学ファインダー、視野率：約80%
●**露出制御**
TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影時：露出補正可能）
●**ホワイトバランス**
オート（マニュアル撮影時：7ポジション選択可能）

●**スマートメディア標準撮影枚数**
撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	1600×1200			1280×960		640×480
クオリティー	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	NORMAL
画像圧縮率	約1/5	約1/10	約1/20	約1/4	約1/8	約1/8
画像1枚のデータサイズ	約760KB	約390KB	約200KB	約610KB	約310KB	約90KB
MG-4S（4MB）	4	9	19	6	12	44
MG-8S（8MB）	10	19	39	12	24	89
MG-16S（16MB）	20	39	75	25	49	164
MG-32S（32MB）	41	79	152	50	99	330
MG-64S（64MB）	82	159	306	101	198	663

●**撮影可能範囲**
標準　：約80cm～無限遠
マクロ：約10cm～80cm
●**シャッター速度**
可変速　1/2秒～1/1000秒（メカニカルシャッター併用）
●**絞り**
F3.5/8.7 自動切り換え
●**セルフタイマー**
タイマー時間約10秒
●**消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）
●**液晶モニター**
1.8型 7万画素 D-TFD
●**ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：広角：約0.2m～3.0m
　　　　　　　望遠：約0.8m～3.0m
発光モード　：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ

入・出力端子

●**デジタル（USB）端子**
パソコンへのデータの転送
●**DC入力端子**
専用ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH接続

電源部、その他

●**電源**
単3形アルカリ乾電池 4本使用
単3形ニッケル水素電池 4本使用（別売）
単3形ニカド電池 4本使用（別売）
専用ACパワーアダプター AC-5V/AC-5VH使用（別売）

●**電池撮影可能枚数**（充電式電池はフル充電した場合）

電池の種類	液晶モニターON状態	液晶モニターOFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約200枚	約400枚
ニッケル水素電池 HR-AA	約200枚	約400枚
ニカド電池 KR-AA（HP）	約130枚	約270枚

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。

●**使用条件**
温度0℃～＋40℃　湿度80%以下（結露しないこと）
●**本体外形寸法**
125×65×39mm（幅/高さ/奥行き）（突起部含まず）
●**本体質量**
約250g（電池、スマートメディア含まず）
●**撮影時質量**
約350g（電池、スマートメディア含む）
●**付属品**
5ページをご参照ください。
●**別売アクセサリー**
64、65ページをご参照ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ

お買上げ店、または弊社サービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
- お買上げ店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7〜14日位をご予定ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

■型名　　　：FinePix2500Z
■故障の状況：できるだけ詳しく
■ご購入年月日